



東風

横浜市立綱島東小学校

備えあれば

副校長 高島 智子



洪水時には閉鎖します。避難場所となりません。

「避難場所が閉鎖中って、体育館が工中なのですか。」「地震のとき避難できないのですか。」児童や地域の方から質問されましたが、どちらもそうではありません。

港北区総務課では「指定緊急避難場所」の案内表示板を新たに設置することになりました。本校では9月2日に、東門のトーテムポールの裏側、歩道からよく見える場所で、「地域防災拠点 避難所」の看板のすぐ横に設置されました。この「閉鎖中」の案内板は、ここは洪水浸水想定区域内に位置する指定緊急避難場所なので洪水のときには避難してはいけないということを示すものです。今年の台風19号の際に、逃げこんではいけない、浸水するかもしれない避難場所に避難してしまった方がいて、大変危険だったという反省から、この看板の設置に至ったそうです。前もって、安全に避難できる場所かどうかを分かりやすく示すことは、危機管理、正に区の市民に対するいざというとき、非常時への備えです。

学校では、教育委員会より示された「新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に従って、保護者の皆様のご協力のもと感染症対策を継続し、子どもたちの明日に「備えて」参りました。毎朝の検温・健康観察に始まり、マスクの着用、発熱等体調不良時の早めの対応など、ご理解・ご協力いただき本当にありがとうございます。また、基本的な感染症対策を重視し、予防対策の第一として手洗いに重点を置き、登校後、授業や活動・給食の前後などの手洗いを奨励しております。多くの方が触れる手すりやドアノブなどは専任の職員室アシスタントが毎日消毒し、児童の掃除時間以外にも担任による新型コロナウイルスに効果がある家庭用洗剤を用いての掃除を行っています。給食時には飛沫感染を防ぐため、少し寂しい気もいたしますが、全員前向きで静かに食べ、マスクなしでのおしゃべりを慎んでいます。すべては新型コロナウイルス感染症予防につながる「備え」です。

これからも、新しい問題に直面したとき、柔軟に考え知恵を働かせて誠実に対応していけるよう、しっかり備えて参ります。保護者の皆様、地域の皆様、子どもたちの明るい未来に向け、明日へのご支援、よろしく願いいたします。

蛇口は毎日洗剤で掃除！消毒！



学校図書館の机も、前向き・ひとつおきに使っています



給食は前向きでもぐもぐ

